

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名： 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス とことこ弘明寺教室

対象人数（保護者） 39人 回答者数 28人 回収 71.8%

環境・体制整備	チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか				
適切な支援の提供	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	13		教室の中を覚えていない 施設が3階にありエレベーターが無いため、物理的なバリアはどうなのかとは思う。それ以外はとも配慮されていると感じる。
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	28			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	3		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	18	3	分からない 機会はないですが、特に必要だと思っていま せん。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	1		
保護者への説明等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	11	7	特に必要性を感じません。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	6		苦情が入っているかどうか分からない。私個人では苦情はない。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	3		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	3		
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	7	2	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	3		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	24	4		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	26	2		
送迎対応	⑲	送迎は正しく行われているか	28			
運動療育	⑳	運動療育は役に立っているか	17	8	3	
	㉑	今後やってほしい療育はあるか	10	7	11	今の支援で満足しています。 仮名・漢字の書く練習による定着 宿泊療育 ハル交換や駄菓子屋さんなどを通して、お金についての活動をもう少し詳しく取り入れて欲しいです。 現在の療育の継続を希望します

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	71%	29%	0%	ケガ等が起きないよう配置していると思う 個別に指導できる部屋があれば良い
	2 職員の配置数は適切であるか	29%	71%	0%	利用人数によって足りていないと思う事がある
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	86%	14%	教室は3階だがエレベーターが無い 3階なので受入れが難しい 教室が3階にある為、移動が大変
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	86%	14%	0%	目標を全員で共有し目標達成を意識している
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	年に一度行っている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	57%	43%	0%	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	研修チームを作り年内研修予定を作成している 毎月テーマを決めて研修を行っている
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	保護者のニーズや教室で取り組んできたことを、面談時にお伝えし今後の計画に向けて作成している
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%	0%	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	57%	43%	0%	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	定期的に新しい内容を取り入れている
	13 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	71%	29%	0%	満足等、平日にできないことを休日に取り入れている 長期休暇の外出では1日の流れの計画書を作成し共有している
	14 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	小集団活動(チャレンジャイム)を導入し活動している 計画書に則った時間「個別チャレンジ」と「集団活動」の時間を取り入れている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	朝礼後のミーティングにて打合せを実施 毎日の朝礼時に活動内容の共有と担当を伝えている

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	86%	14%	0%	
17	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	86%	14%	0%	
21	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもとの主治医等と連絡体制を整えているか	57%	43%	0%	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	43%	43%	14%	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	29%	71%	0%	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14%	71%	14%	
27	か(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	29%	71%	0%	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	14%	86%	0%	
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	
31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	

関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等					
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	57%	43%	0%	
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	タイムリーに全職員に共有
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	71%	29%	0%	
35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	71%	29%	教室に招いたり等はない
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	86%	14%	0%	
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	集団活動内に取り入れ年2回実施
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	71%	29%	0%	そのような場面機会がないのでわからない
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	57%	43%	0%	

非常時等の対応

職員による自己評価

A 環境面

- ・ケガ等無いように安全面に配慮して配置をしている。
- ・個別にじっくりと指導できる部屋があれば良い。教室が3階にあるので受け入れ、移動が大変

B 児童への支援内容

- ・新しい活動プログラムを定期的に取り入れ、学休日には外出支援や地域交流なども実施している。
- ・児童の発達段階等を考慮した小集団活動を取り入れている。

C 関係機関との連携

- ・学校の先生やキッズ・保護者と連携し情報共有や調整を行っている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者のニーズや取り組んできたことを面談時にお伝えしている。

- ・連絡帳アプリを使い毎日の様子をお伝えするとに加え、送迎時に一日の様子をお伝えしている。

E 非常対応

- ・避難訓練を子どもたちと一緒に年2回行っている。
- ・職員が迅速に対応できるようにタイミーに情報共有している

保護者による評価

A 環境面

- ・活動スペースの確保が十分にされているかは9割の方が確保されているとの回答。どちらとも言えないとの回答が1件あった。

- ・手すりやスロー設置のバリアフリー化の配慮については5割がなされていると感じている。

- ・施設が3階にありエレベーターが無いとの意見あり。

B 児童への支援内容

- ・子供や保護者のニーズに沿った計画が作成されて、活動プログラムが固定化されないよう工夫されているかには、ほぼ10割の方がなされているとの回答。

C 事業所からの情報発信

- ・支援の内容や日頃の子供の様子や発達状況・課題への共通理解、育児に関する助言、行事報告などの発信に感じては8割～9割の方がなされていると感じている。保護者会の開催により保護者同士の連携支援がされているかには3割がされているとの回答で6割はされていないか、どちらともいえないだった。

D 非常対応

- ・緊急時対応や防犯、感染症やマニュアルへの保護者周知・説明への理解が6割強にとどまった。災害についての定期的な訓練は9割の方はなされているとの理解だった

事業所内での分析

【共通点】

- ・活動スペースは安全面に配慮して確保されている。
- ・施設が3階にあるため移動が大変。
- ・支援の内容や様子などについて情報共有がなされている。
- ・プログラムに対しての工夫や新しく取り入れられている。
- ・災害訓練への取り組みは行われている。

【相違点】

- ・スペースは確保されているが、個別指導の部屋を必要とする意見もあり。
- ・教室内では緊急時対応や防犯・感染症やマニュアルの保護者への周知、説明への認識不足

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・定期的に新たなプログラムを取り入れ活動のマンネリ化を防いでいる。
- ・休日や長期休暇の際には、外出プログラムを数多く取り入れ、楽しみながら外出訓練ができるようにしている。
- ・地域のお店や公共施設（図書館）を訪問し、地域交流を行っている。
- ・毎月おもちゃ図書館でおもちやを借りて、入れ替えを行う事で児童間の交流や経験機会に繋げている。
- ・個別支援計画に基づいた時間と集団活動の時間を設定し、取り組んでいる。

事業所の改善点

- ・高学年など滞在時間が短くなった児童へのプログラム内容の見直しが必要。
- ・訪問者に対しての対応方法の徹底や防犯設備の見直しが必要。

事業所の改善への取り組み

- ・下校時間により滞在時間が短くなった児童に合わせたプログラムやスケジュールの調整を行う。
- ・職員の知識技術の向上のための研修や自己学習の実施を行う。
- ・活動内容と児童の発達段階を考慮した環境設定の調整を行う。
- ・児童の安全確保のために、危険個所の再点検と訪問者に対する防犯設備の設置等を検討する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者の方々の率直な意見を聞くことが、職員の励みになり、今後の活動への改善点を見出すことに繋がりました。ご意見を基に更なる教室内での安全性と療育の向上に向けて努めていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

事業所名 放課後等デイサービス とことこ弘明寺教室

担当者 服部 麻希